

MIC & 自由法曹団-スパイ防止法反対学習会

『VIVANT』ブームと「安全保障」の罭

～エンタメ作品に見る「スパイ防止法」問題～

ドラマ『VIVANT』は、架空の自衛隊内の超法規的組織「別班」や公安警察、過激派組織などが入り乱れる息をもつかせぬエンタメ作品として高い視聴率を獲得しています。一方で、スパイ防止法や治安維持的法制の導入・強化に対して懸念を抱く立場からは、この作品が提示する価値観や世論醸成の方向性について不安を覚えます。今回の学習会では、エンタメが市民意識に与える影響や「スパイ防止法」導入がもたらす危険性について、憲法学・メディア論・人権の観点から議論します。この問題に詳しい石井 暁 氏（ジャーナリスト／元共同通信編集委員）、本間耕三氏（自由法曹団弁護士）を登壇者にお呼びしました。ともに考えていきましょう。

【開催概要】

日 時:2026 年 10 月 24 日(土)13:30～16:35(開場 13:00)

会 場:ラパスホール(東京都豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館 6 階)

Google マップ=<https://qr.paps.jp/5EQSr>(右記に QR コード)

最寄り駅からのアクセス:丸ノ内線「新大塚駅」から徒歩約 4 分

JR 山手線「大塚駅」南口から徒歩約 5 分

参加費:資料代 500 円(会場参加のみ+オンラインは無料)

Zoom ウェビナー入室 URL:<https://qr.paps.jp/Pm7Ko>(右記に QR コード)



【プログラム】13:30 - 開会挨拶・趣旨説明

基調報告「『超法規』の危険性と憲法秩序」

ジャーナリスト報告(30 分)、弁護士報告(30 分)

14:40 - 休憩

14:50 - パネルディスカッション & 質疑応答

「エンタメが生み出す『国家の安全』のフィクション」

16:35 閉会

【登壇者】

*石井 暁 氏(ジャーナリスト／元共同通信編集委員)

防衛庁・安全保障問題を長年取材し、陸上自衛隊の秘密情報部隊「別班」の実態をスクープ。ドラマ『VIVANT』放映時には解説新書を出版し、シビリアン・コントロールを逸脱した秘密工作部隊の問題点や「知る権利」の重要性について精力的に発言を行っている。著書:『自衛隊の闇組織——秘密情報部隊「別班」の正体』(講談社現代新書)、『防衛省追及』(地平社)

*本間 耕三氏(自由法曹団弁護士)

弁護士。第二東京弁護士会所属。1985 年生まれ、兵庫県姫路市出身。中央大学法学部、ロースクールを経て 2018 年 9 月司法試験合格(72 期)。2019 年 12 月司法修習修了。2020 年 2 月弁護士登録、東京法律事務所入所。福島原発被害弁護団、ノーモアミナマタ第 2 次訴訟弁護団、青年法律家協会、自由法曹団、日本労働弁護団所属。現在は不当解雇やパワハラなどの労働事件、公害裁判(ノーモア・ミナマタ 2 次訴訟等)、地方自治・住民訴訟など多岐にわたる人権・公害問題に取り組む。

主催:日本マスコミ文化情報労組会議(MIC)・自由法曹団

問い合わせ先:MIC／〒113-0033 東京都文京区本郷 2-36-2 T.M 畑中ビル 302 全印総連気付 MIC 宛

電話:03-6672-8584 FAX:050-6883-4101 アドレス:mic-un@union-net.or.jp